

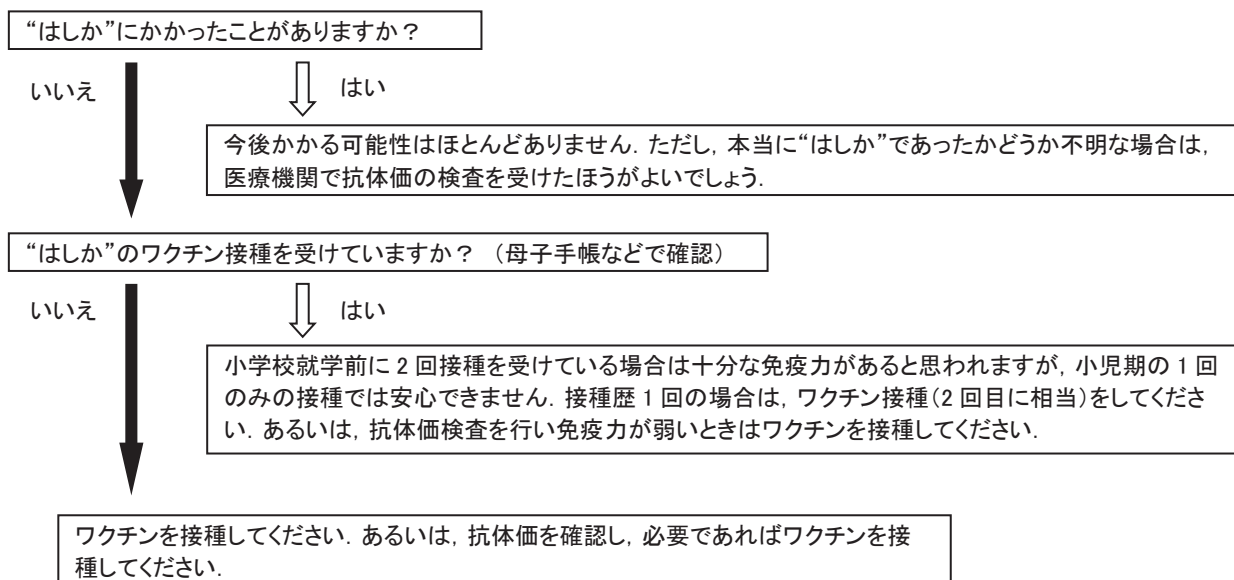
麻しん（はしか）などの集団感染防止についてご協力のお願い

以前に高校生や大学生を中心に麻しん（はしか）が流行し、いくつかの学校で休校措置がとられたことがあります。麻しんは入学式など集団で集まる機会が多くなる4月～6月が流行のピークです。そのため、入学前に十分な予防対策をとっておくことが必要です。

麻しん予防として最も有効なのはワクチン（MRワクチンを含む：下記参照）を2回接種することで、我が国では平成18年度から小学校就学前に2回接種が実施されています（公費負担で接種）。そのため、ほとんどの新入生はワクチンを2回接種していますが、一部に未接種もしくは1回のみ接種の方がいらっしゃる可能性があります。愛知学院大学保健センターでは、麻しん（はしか）の学内における集団感染を防止するために、麻しんワクチン未接種で麻しんに罹患したことがない学生、あるいは麻しんワクチンを1回しか接種していない学生には、ワクチン接種を受けることをお勧めしています。特に、学校、病院、介護施設等での実習が必要な資格（学校教員、歯科医師、薬剤師、言語聴覚士、管理栄養士、公認心理師等）の取得を希望する学生は、ワクチン接種歴や抗体価を実習前に確認しますので、ワクチン接種記録や検査結果報告書などの証明を必ず手元に保管しておいてください。

また、麻しんほどの感染力はないものの、集団感染が心配される風しん（三日はしか）・流行性耳下腺炎（おたふく）・水痘（みずぼうそう）につきましても、ワクチン接種歴や罹患歴を確認し、かかりつけ医師に抗体価検査やワクチン接種の実施について相談することをお勧めします。

学内における集団感染予防のため、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



注1) 麻しんの予防接種は、風しんワクチンと混合したMRワクチンを使用することがほとんどです。平成18年度からMRワクチンを小学校就学前に2回接種しています（平成31年以降に高校を卒業：平成31年度新入学生からに相当）。なお、平成20年度から5年間に限り、中学1年生と高校3年生にMRワクチンを公費負担で接種しました（平成30年3月までに高校を卒業した学生に相当）。

注2) ワクチン接種歴、罹患歴につきましては、母子手帳などでご確認ください。